

令和6年6月

各 位

八戸市東京事務所長

## 八戸レポートの送付について

時下ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

「八戸レポート令和6年6月号」をお送りいたしますので、御高覧くださいますようお願いいたします。

八戸駅西地区に5月5日、トランポリン棟を核とした複合商業施設「エルロン・ウェスト・ビレッジ」がオープンしました。八戸市の北辰工業が、八戸駅西口と多目的アリーナ「フラット八戸」を結ぶ「シンボルロード」沿いに整備したもので、核となる「バウンシートランポリンパーク」はトランポリン棟としては東北最大級。9種類のアトラクションが楽しめます。

また、同日には、地元の有志団体「八戸駅かいわいで盛り上がり隊」の主催で、シンボルロード沿いを歩行者天国とする「第2回 HACHINOHE FESTIVAL」が開催されました。3人制バスケットボール「八戸ダイム」やアジアリーグアイスホッケー「東北フリーブレイズ」、競輪の現役選手らが参加するイベントなどが行われ、大勢の来場者でにぎわいました。

スポーツを主体としたまちづくりに力を入れ、今後ますますにぎわいが期待される駅西地区。新幹線で八戸市にお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。

### ◎皆様へのお願い

職業、役職、住所などに変更がある場合は、八戸市東京事務所までお知らせくださいますようお願い申し上げます。

八戸市東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-4-2 全国都市会館 5階

電話 (03) 3261-8973 / FAX (03) 3239-6723

E-mail: [tokyo@city.hachinohe.aomori.jp](mailto:tokyo@city.hachinohe.aomori.jp)

# 八戸 6月号 レポート

令和6年5月の八戸市内での出来事や八戸市に関連する情報をお届けします。

## 【行政】

記事	概要
(1)	地域おこし隊に鳥谷部さん 八戸ワイン産業創出に挑戦
(2)	中心街路 有効活用へ ストリートデザインビジョン案公表
(3)	ADKデジタルオペレーションズ 八戸センター7月に新部門
(4)	子どもの声を市政に 八戸市、モニター初委嘱 小5から高3の100人

## 【産業】

記事	概要
(5)	八戸市 運送や倉庫 物流関連で4補助事業
(6)	八戸北インター第2工業団地 分譲受け付け6月開始
(7)	青森つばめプロパン販売（八戸）「しょうゆ」事業に参入
(8)	「ふぐ福まつり」八戸前沖で漁獲 コース料理手頃に
(9)	CDデビュー15周年記念「androp」内澤さん 八戸酒造とコラボ酒

## 【地域】

記事	概要
(10)	八戸花火大会8月18日 打ち上げ数2000発増目標
(11)	八戸・「こどもはっち」預かり保育と訪問相談 2新規事業開始
(12)	八戸・旧チーノ再開発 マンション棟着工
(13)	八高支生運営校内カフェ 丁寧な接客、大盛況
(14)	みちのく潮風トレイル 全線開通5周年 八戸でウォークイベント
(15)	はちのへホコテン始まる 人出上々、中心街に活気
(16)	外国クルーズ船 八戸港入港 乗客 芸術や自然満喫

## 【文化・スポーツ】

記事	概要
(17)	うみねこマラソン 暑さに負けず潮騒路駆け
(18)	八戸市美術館がダンジョンに 企画展「展示室の冒険」
(19)	八戸市民大学講座開講 直木賞作家石田衣良さん 本の魅力や楽しさ語る

【行政】

記事	
(1)	<p><b>地域おこし隊に鳥谷部さん 八戸ワイン産業創出に挑戦</b></p> <p>八戸市は5月1日、八戸ワイン産業創出プロジェクト推進に関わる地域おこし隊員として、千葉県鎌ケ谷市から転入した鳥谷部彩さん（岩手県八幡平市出身）を任用した。首都圏でアパレル関連に勤務していた鳥谷部さんは、夫が八戸市内でパン店の開業準備を進める中で、今回の協力隊の募集を知り応募。本格的に農業に携わるのは初めてだが、市内には祖父母宅があることや、八戸工業大学に通っていたことから、八戸は第二の古里だという。同日、市長室で交付式が行われ、熊谷市長は「県外にいたからこそ見える八戸の魅力を引き出してほしい」と激励した。</p>
(2)	<p><b>中心街路 有効活用へ ストリートデザインビジョン案公表</b></p> <p>八戸市は、市中心街の街路整備や空間活用の方向性を定めた「ストリートデザインビジョン」案を公表した。現在3車線の一方通行となっている三日町と十三日町のメインストリートは、走行可能な2車線を確保しつつ、部分的には南北両側に荷さばき用の十分な停車スペースを設置する。八戸三社大祭の山車を全開で運行できる幅を維持しながら、日常的な活動が生まれる公共空間として街路を有効活用する方針。6月19日まで実施するパブリックコメントを基に、7月にビジョンを策定する予定。</p>
(3)	<p><b>ADKデジタルオペレーションズ 八戸センター7月に新部門</b></p> <p>インターネット広告の発注や運用などを行う「ADKデジタルオペレーションズ」は5月23日、青森県、八戸市と事業所開設に関する基本協定を締結した。7月1日、八戸市十三日町のヴィアノヴァビル内の八戸センターに「BPO推進部」を新設する。同社は2019年に八戸センターを開設し、インターネット広告の事務作業受託や運用などの業務を展開してきた。グループ全体でデジタル領域の業務が拡大していることを受け、新聞やテレビ、雑誌などのオフライン広告に関連する受託業務を集約し、効率化を図る。</p>
(4)	<p><b>子どもの声を市政に 八戸市、モニター初委嘱 小5から高3の100人</b></p> <p>子どもの声を政策に反映させようと、八戸市は5月25日、小学5年から高校3年までの100人を「市子どもモニター」に委嘱した。子どもモニター制度は、若者や女性が魅力を感じられるまちづくりを目指して熊谷市長が設立した「まちの魅力創生ネットワーク会議」の提案で実現。モニターには定員を超える応募があり、学年や地域バランスを考慮して抽選で選出した。交付式の後、市の成り立ちや政策などを学ぶ勉強会を開催。今後は年6回程度、インターネットによるアンケート調査に回答する。</p>

【産業】

記事	概要
(5)	<p><b>八戸市 運送や倉庫 物流関連で4補助事業</b></p> <p>八戸市は、物流関連事業者向けに4つの補助事業を実施すると発表した。燃料高騰や2024年問題の影響で厳しい状況にある貨物自動車運送事業者や、国の電気料金激変緩和措置の縮小などで厳しさを増す倉庫業者に対する支援金のほか、物流事業者などが行う生産向上に対する取組に関する経費の補助、陸送で他港に運んでいた貨物を八戸港を利用した船舶輸送に切り替える業者に対する補助を実施。総額は約1億4千万円で、国の地方創生臨時交付金などを活用して、経営面で苦境に立たされる事業者を支える。</p>
(6)	<p><b>八戸北インター第2工業団地 分譲受け付け6月開始</b></p> <p>八戸市は5月21日、開発を進める新産業団地「八戸北インター第2工業団地」の分譲受け付けを6月3日から始めると発表した。第2工業団地は約49ヘクタールの事業面積に約24ヘクタール（26区画）の分譲地を整備。受け付けは第1工区約20ヘクタール（20区画）分。造成工事が完了していないため、分譲予定価格を示し、優先交渉者を選ぶ。募集期間は約3か月間で価格は1平方メートル当たり3万3千～3万5千円。八戸自動車道や八戸港、鉄道などの交通インフラが整備された立地優位性を生かし、自動車や医療福祉関連などの成長産業や、物流関連産業などで新たな企業誘致や産業振興につなげる。</p>
(7)	<p><b>青森つばめプロパン販売（八戸）「しょうゆ」事業に参入</b></p> <p>八戸市の燃料小売業である青森つばめプロパン販売は今春から、しょうゆの製造販売事業を開始した。同社は配達網を活用したさらなる事業の拡充を模索していたところ、青森県事業継承・引継ぎ支援センターの仲介で、譲渡先を探していた同市の老舗・高村醤油本店から事業を譲り受けた。高村醤油本店は創業120年を超え、看板商品の濃い口しょうゆ「コーザンしょうゆ特級」と薄口しょうゆ「タカラウメ」は全国醤油品評会でそれぞれ優秀賞を受賞するなど、東北地方を代表するしょうゆメーカー。製造は群馬県のメーカーに委託し、高村醤油本店の味を再現する。</p>
(8)	<p><b>「ふぐ福まつり」八戸前沖で漁獲 コース料理手頃に</b></p> <p>八戸市などの料理人でつくる八戸日本料理業芽生会が主催する「第11回八戸前沖ふぐ福まつり」が、5月10日～6月25日、八戸、青森両市の計10店舗で開催されている。同まつりは、北三陸で春から初夏にかけ上質な天然トラフグが水揚げされることから、2014年から開催。5月29日を「八戸前沖ふぐの日」と定め、地元でのふぐ食文化の定着や観光資源としてのブランド化に取り組んでいる。首都圏ではあり得ない手頃な価格で堪能できるとあって、遠方から訪れる観光客もいるという。</p>
(9)	<p><b>CDデビュー15周年記念「androp」内澤さん 八戸酒造とコラボ酒</b></p> <p>八戸市出身で人気バンド「androp」のボーカル、ギターを務める内澤崇仁さんと、八戸酒造の人気ブランド「陸奥八仙」とのコラボ商品「八仙-乾杯をしよう 僕らはきっとよくやった-」が誕生した。アーティストとのコラボ商品を製造するのは初の試みで、バンドのCDデビュー15周年を記念して同社が企画。商品名は、昨年7月に同社の酒蔵で開催された内澤さんのソロライブ後に発表した乾杯ソング「Toast」の歌詞からつけられ、祝い場などで、お互いをたたえ合って乾杯するときに飲んでもらいたいとの思いが込められているという。コラボ酒は6月6日から3千本限定で販売。500ml入りで、税込み2750円。</p>

【地域】

記事	概要
(10)	<p><b>八戸花火大会 8月18日 打ち上げ数2000発増目標</b></p> <p>八戸市の夏の風物詩「八戸花火大会」が、8月18日に館鼻岸壁で開催することが決まった。今年には昨年より2千発多い8千発の打ち上げを目標に掲げる。昨年から、警備などの人件費確保や資材の高騰に対応するため完全有料化しており、今年も入場者は有料席の購入者と招待者の7千人に限る。また、市民とつくり上げる大会として親しみを深めてもらうため、大会を企画する過程や大会に情熱を傾ける人などを取り上げ、動画配信や交流サイト（SNS）で拡散するなど情報発信に力を入れる。</p>
(11)	<p><b>八戸・「こどもはっち」預かり保育と訪問相談 2新規事業開始</b></p> <p>八戸市の「こどもはっち」を運営するNPO法人はちのへ未来ネットが、預かり保育事業「こどもはっちでおるすばん」と、出張・訪問相談サービス「こどもはっちおたずね隊」をスタートさせた。「おるすばん」は、中心街の立地を生かし、買い物や食事などの合間にこどもはっち内で最大3時間、一時預かりを行う。「おたずね隊」は、転勤などで八戸へ引っ越してきて知り合いのいない人や来館が難しい人らに向け、職員が訪問し相談に応じる。2事業を通じて、保護者の負担軽減や地域からの孤立を防ぐなどの効果が期待できる。</p>
(12)	<p><b>八戸・旧チーノ再開発 マンション棟着工</b></p> <p>八戸市十三日町の旧チーノはちのへ一体の再開発事業を担うフージャースコーポレーション（東京）は5月15日、分譲マンション棟1棟の建設に着工したと発表した。一帯には15階建てマンション棟2棟、9階建てホテル商業棟、駐車場棟をそれぞれ整備する計画。ツインタワーのマンション棟の総計画戸数は141戸で、青森県最大規模になるという。また、一帯を指す愛称を「ハチノスクエア」と決定。同社は「ハチノスクエアが中心街に新しい風景を作り出し、人と人の出会いが生まれる場所になるようにしたい」とコメントした。</p>
(13)	<p><b>八高支生運営校内カフェ 丁寧な接客、大盛況</b></p> <p>青森県立八戸高等支援学校産業化の生徒が主体となって運営する校内カフェ「cafe854（はちこうし）」の本年度の営業が、5月24日に始まった。就労に向けた実践的な取組の一環として毎年度実施しているもので、生徒は提供メニューの考案や製造、接客の練習など準備を進めてきた。営業当日は開店と同時に多数の地域住民らが訪れ、店内はほぼ満席に。生徒が製造したチーズケーキやマフィンを買って求めた。生徒は緊張しながらもそれぞれの役割を懸命にこなし、丁寧な接客で交流を深めた。</p>
(14)	<p><b>みちのく潮風トレイル 全線開通5周年 八戸でウォークイベント</b></p> <p>八戸市から福島県相馬市まで太平洋沿岸を結ぶ「みちのく潮風トレイル」の全線開通5周年を記念したウォークイベントが、5月26日に八戸市で開かれた。市内外から約400人が参加し、オープニングセレモニーの後、参加者は蕪島海浜公園をスタートする長距離（8キロ）、葦毛埼展望台から始まる短距離（5キロ）の二つのコースに分かれ、ゴールの種差海岸へ向けて出発。思い思いのペースで歩きながら、風光明媚な海岸線を堪能した。ゲストとして、弘前市出身のタレント王林さん、フリーアナウンサー藤井貴彦さんもウォークに参加。ポケモンの人気キャラクター「ピカチュウ」なども駆け付け、イベントを盛り上げた。</p>

(15)	<p><b>はちのへほこテン始まる 人出上々、中心街に活気</b></p> <p>八戸市中心街を歩行者天国とする今年初回の「はちのへほこテン」が、5月26日に開かれた。この日は晴天に恵まれ、午前11時の開始から続々と家族連れや友人のグループが来街。約40店の屋台やキッチンカーが並び、歌やダンスのステージ、ジャグリングなどのパフォーマンスも行われ、街は活気にあふれた。ほこテンは7月を除く5月～10月まで毎月行われ、次回6月は、市私立幼稚園協会の持ち込み企画も実施。8月は夕方開始、9月は通常開催で、10月は昨年続き高校生企画を行う。</p>
(16)	<p><b>外国クルーズ船 八戸港入港 乗客 芸術や自然満喫</b></p> <p>ポルトガル船籍のクルーズ船「ヘリテージ・アドベンチャー」が5月29日、八戸港に寄港した。同船の寄港は青森県内初で、大阪港を発着する国立公園や芸術文化を巡るツアーの行程で訪れた。八戸港に外国クルーズ船が寄港するのは昨年6月に引き続き2回目。八太郎4号埠頭P岸壁では、県や市関係者らが太極旗を振るなどして、ニュージーランドやオーストラリア、米国などからの約100人の乗客らを出迎えた。乗客らは、八戸市美術館や十和田現代美術館と蕪島をめぐるコースや、十和田・奥入瀬エリアの観光に繰り出し、地域で体感できる技術や文化、豊かな自然を満喫した。</p>

#### 【文化・スポーツ】

記事	概要
(17)	<p><b>うみねこマラソン 暑さに負けず潮騒路駆け</b></p> <p>第43回八戸うみねこマラソン全国大会が5月19日、館鼻岸壁特設会場を発着点に行われた。距離、年代、性別で分かれた計23部門に、北海道から沖縄県まで32都道府県から4563人がエントリー。今大会では、急病人への声かけや応急処置の補助を行うメディカルランナーや、式典の通訳やスタートの案内などを行う手話係も初めて導入した。また、高校生ら約100人を含む約400人のボランティアが参加し、運営を支えた。さんさんと太陽が照りつける中、ランナーは暑さに負けず潮騒路を駆け抜けた。</p>
(18)	<p><b>八戸市美術館がダンジョンに 企画展「展示室の冒険」</b></p> <p>八戸市美術館で、企画展「展示室の冒険」が開催されている。本展では、同館収蔵作品69点を展示。“展示室の管理人”を名乗る謎の人物から届いた招待状から冒険が始まるという設定で、作品の配置が変則的なエリア、道具を使って作品を鑑賞できるエリア、木のように並ぶ作品の中を鑑賞するエリアなど4つのエリアごとに、それぞれ管理人の仕掛けを楽しめるようになっており、今までにない鑑賞体験ができる展覧会として好評だという。6月24日までの開催。</p>
(19)	<p><b>八戸市民大学講座開講 直木賞作家石田衣良さん 本の魅力や楽しさ語る</b></p> <p>八戸市民大学講座が5月22日、市公会堂で開講した。本年度は11月まで全10講座を予定しており、初回は市立図書館創立150周年を記念し、直木賞作家の石田衣良さんが登壇。石田さんは1997年に人気シリーズ「池袋ウエストゲートパーク」(文芸春秋)でデビュー。「4 TEEN」(新潮社)で直木賞を受賞し、その後も次々と作品を発表している。95、96年をピークに売り上げが減少している本の現状に触れながら「本はただの商品ではなく、魔法の書でもある。本に触れる習慣を身に付けることで、その力に気付いてほしい」と本の魅力や楽しさを語った。</p>

## ふるさと寄附金のご案内

### 『ふるさと寄附金』で八戸を元気に!

八戸市では、「八戸を応援したい!」「八戸が大好き!」という方々からいただくご寄附を『ふるさと寄附金』と名付け、八戸の魅力を高めるためのさまざまな事業に活用させていただいております。ぜひ、『ふるさと寄附金』という形で八戸市を応援してください!



### ふるさと寄附金の3つの魅力

#### 1 寄附金の使い道を指定できる

震災復興、子育て支援、まちづくりなど複数の分野から、寄附金の使い道を選ぶことができます。

#### 2 税金が控除(還付)される

控除上限額内で寄附を行うと、合計寄附額から2,000円を超え部分について、所得税の還付や住民税の控除を受けることができます。(控除上限額は収入や家族構成によって異なります。詳しくはお住まいの市区町村の個人住民税担当部署にお問い合わせください。)

#### 3 お礼の品がもらえる

八戸市では、10,000円以上の寄附をされた八戸市外にお住まいの個人の方に、地域の名産品を「お礼の品」としてお届けしています。

### 郵送・FAX・メール

- 「ふるさと寄附金申込書」に必要事項をご記入の上、ご提出ください。
- 申込書は市ホームページからもダウンロードできます。
- 申込書の郵送をご希望の方はご連絡ください。

市ホームページ



### インターネット

- 下記4つのふるさと納税ポータルサイトから商品をお選びいただけます。
- 各ポータルサイトの決済方法に従って、寄附金のお支払いをお願いします。
- クレジットカード決済をご希望の場合はこちらからお申込みください。

ふるさとチョイス

楽天ふるさと納税



ふるなび

JRE MALL



### 送付先

広報統計課 ふるさと寄附金担当

〒031-8686

青森県八戸市内丸1-1-1

TEL:0178-43-2319

FAX:0178-47-1485

Email:furusatotax

@city.hachinohe.aomori.jp

## 八戸市東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-2 全国都市会館5階

TEL:03-3261-8973 FAX:03-3239-6723

Email:tokyo@city.hachinohe.aomori.jp

[所長] 番沢 啓司 [主査] 齋藤 千聖 [事務員] 浜井 章代

八戸市東京事務所では、企業誘致や八戸市関連情報の発信等を行っております。関連情報がございましたら、ご提供くださるようお願いいたします。また、事務所の近くにお越しの際は、どうぞお気軽にお立ち寄りください。